

美しきものを
追い求めよ。
ヴィスコンティの
絢爛たる世界が、
今、ここに甦る。



生誕110年 没後40年メモリアル
ルキーノ・ヴィスコンティ 監督作品

Conversation Piece
家族の肖像

デジタル完全修復版

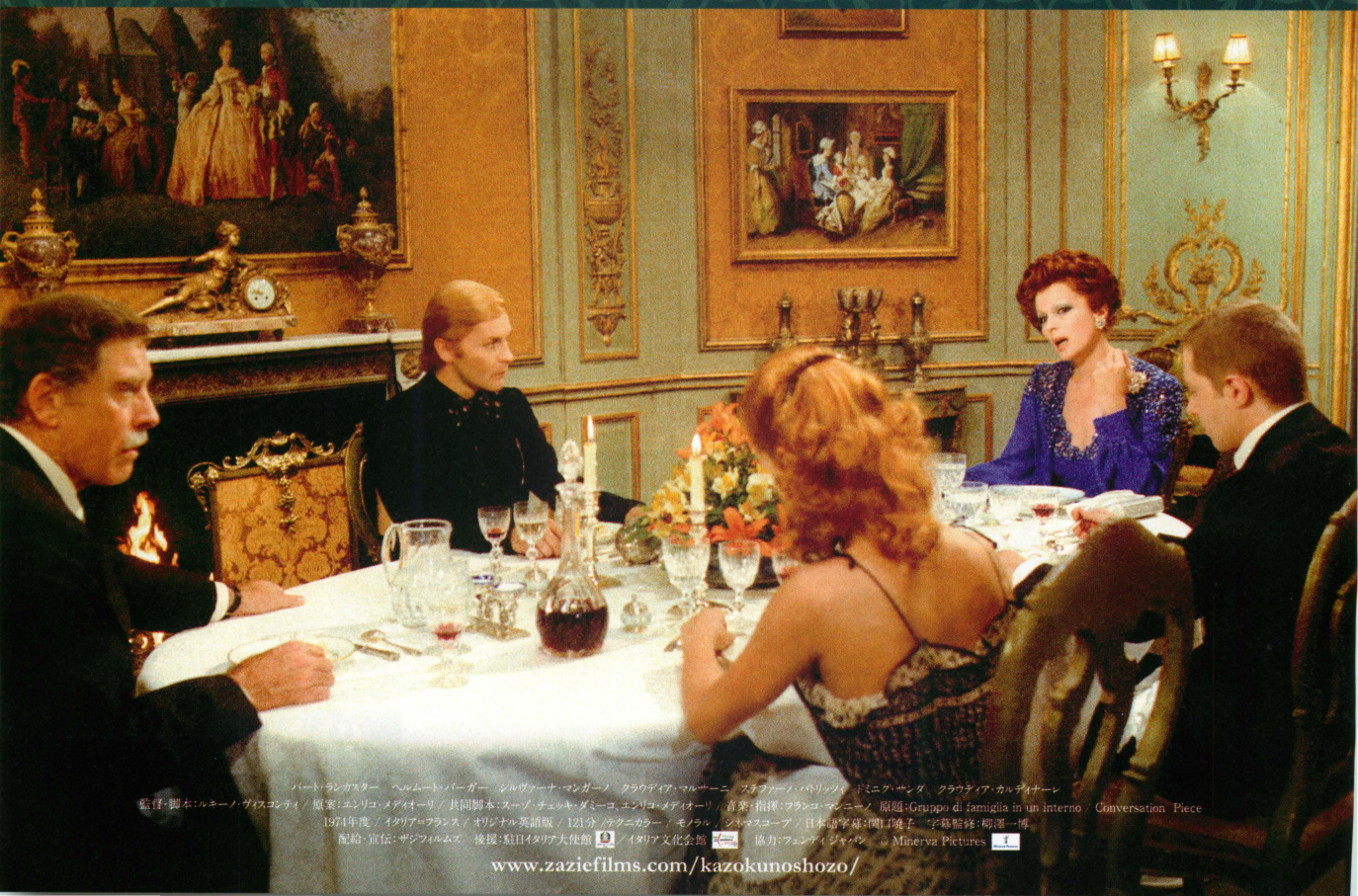
バート・
ランカスター

ヘルムート・
バーガー

シルヴァーナ・
マンガーノ

ドミニク・
サンダ

クラウディア・
カルディナーレ



バート・ランカスター ヘルムート・バーガー シルヴァーナ・マンガーノ クラウディア・カルディナーレ スター・アール・バリス
監督・脚本:ルキーノ・ヴィスコンティ 原案:エンリコ・メディアオリ 共同脚本:スーゾ・チャルキ・ダミコ、エンリコ・メディアオリ 音楽:指揮:サラコ・マンニョ 原題:Gruppo di famiglia in un interno / Conversation Piece
1974年度 / イタリア・フランス / オリジナル英題版 / 121分 / テクニカラー / モノラル / シネマスコープ / 日本語字幕:関江陽子 字幕監修:菊澤一博
配給・宣伝:ザジフィルムズ 後援:駐日イタリア大使館 / イタリア文化会館 協力:ファンタジック / Minerva Pictures

www.zaziefilms.com/kazokunoshozo/

1975年ダヴィッド・ディ・ドナテッロ賞 作品賞/外国男優賞 1978年度文化庁芸術祭 外国映画の部大賞
 1978年度日本映画ペンクラブ賞外国映画第1位 1978年度第21回ブルーリボン賞外国作品賞 1978年優秀映画鑑賞会 特別推薦
 1978年第52回キネマ旬報 外国映画ベスト・テン第1位 1978年第52回キネマ旬報 外国映画監督賞
 1979年第2回日本アカデミー賞 最優秀外国作品賞

生誕110年、没後40年メモリアルの掉尾を飾り、 ヴィスコンティ渾身の後期最高傑作が、 39年ぶりにスクリーンに甦る!

ミニシアター黎明期、あの伝説的ヴィスコンティ・ブームは、この作品の大ヒットから始まった。

18世紀イギリスで流行した<家族の肖像>と呼ばれる家族の団欒画のコレクションに囲まれて、ローマの豪邸に一人暮らす老教授。失われゆくものに埋もれ、孤独に生きていた彼の生活が、ある家族の闖入によって掻き乱されていく。

1972年、前作『ルートヴィヒ』の完成間際に病いに倒れ、敬愛するドイツの文豪トーマス・マンが息を引き取ったというスイスの病院の同じ病室に身を置いていたルキーノ・ヴィスコンティ監督、その時65歳。

ライフワークとしていた諸作品(「魔の山」、「失われた時を求めて」etc...)の映画化を健康上の理由から断念せざるを得なくなった彼が、共同脚本のエンリコ・メディオーリに口にした「単純で簡潔な、一室内で終始する物語。登場人物は二人」というアイデアから生まれたのが本作。美術のマリオ・ガルブリア指揮の下、制作されたスタジオのセット内ですべて撮影、車椅子を操りながら氣迫と執念で撮り上げました。

長年に渡り協力関係にあった名優たちが奏でる、室内楽にも似た名演のアンサンブル。『山猫』で、最もヴィスコンティ自身に近い、と言われた滅びゆく貴族を見事に体現したバート・ランカスターが、ここでもまた、ヴィスコンティ自身の精神的な肖像とも言うべき教授役を味わい深く演じています。

始めは反目しながらも次第に強く惹かれていく、粗野な面と知性を同時に持つ美青年コンラッドには、公私にわたり監督から寵愛を受けたヘルムート・バーガー。気品あふれる存在感を過去作に焼き付けてきたシルヴァーナ・マンガノが、貴族ならではの傍若無人さをまき散らす伯爵夫人に扮し、強烈な存在感を示します。回想場面で登場する、クラウディア・カルディナーレ、ドミニク・サンダの特筆すべき美しさに、ため息が漏れることでしょう。

Fashion

フェンディ
 『家族の肖像』



今回上映される2Kデジタル完全修復版は、イタリア・ローマを代表するラグジュアリーブランド フェンディが2013年9月にミラノ・モンテナポレオーネ通りに新旗艦店をオープンした際の、映画界との長年の協力関係に敬意を表した特別プロジェクトの一環として制作されました。本作においてフェンディは、映画、演劇界で名を馳せる衣装デザイナー ピエロ・トージとのコラボレーションによって、シルヴァーナ・マンガノが着用した、いくつかの重要なシーンに登場するファーコートを制作しています。



出演:バート・ランカスター / シルヴァーナ・マンガノ / ヘルムート・バーガー / ドミニク・サンダ / クラウディア・カルディナーレ 監督・脚本:ルキーノ・ヴィスコンティ 原案:エンリコ・メディオーリ 共同脚本:スズー・チェッキ・ダミーコ、エンリコ・メディオーリ

音楽・指揮:フランコ・マンニニ 原題:Gruppo di famiglia in un interno / Conversation Piece 1974年度 / イタリア=フランス / オリジナル英語版 / 121分 / テクニカラー / モノラル / シネマスコープ /

日本語字幕:関口暁子 字幕監修:柳澤一博 配給・宣伝:ザジエフィルムズ 後援:駐日イタリア大使館 協力:フェンディジャパン ©Minerva Pictures www.zaziefilms.com/kazukunoshozo/

2017年 **2/11** (祝・土) **ロードショー** 3/24 (金)まで

特別鑑賞券 1,500円 好評発売中!
 (当日一般¥1,800、シニア・学生¥1,500のところ) ※料金は税込
 ※特別鑑賞券の岩波ホールでの販売は2/10(金)まで

上映時間	月～金	11:00	13:30	16:00	19:00
	土・日・祝	11:00	13:30	16:00	18:30
(自由席・定員制・入替制・整理券制)					

岩波ホール

03(3262)5252

<http://www.iwanami-hall.com/>

●地下鉄(都営三田線・新宿線・東京メトロ半蔵門線)神保町駅A6出口すぐ上
 ●JR(中央線)水道橋駅または御茶ノ水駅、下車徒歩12分 ●神保町交差点角